

えでぴあ

立川と語ろう 立川に生きよう

November 2018

Écoutez Bien Vol.36 No.408

11

節目の20回は晴天で

表紙の人／岡本家（代正・紗町）



元祖駅ナカ

案内人

沼本忠次氏（日本鉄道構内営業中央会 事務局長）

駅構内の旅客営業の始まりは、新聞の立売りである。明治5年新橋・横浜間の正式な営業開始前に先んじること4か月。明治5年5月7日（太陰暦）品川・横浜間を仮営業した。そのわずか1か月後、邦字新聞「日新真事誌」や「The Far East」の発行人でイギリスのジョン・レディ・ブラックが初代鉄道頭の井上勝宛てに「新聞販売の許可」とともに鉄道寮の法被を与えてほしいという旨の嘆願が出された。6月5日、承諾する回答があったという。どこの駅で販売されたかは不明である。

その後横浜駅構内にて赤井金次郎は横浜駅構内に売店を設け、小間物、新聞などの販売を開始した。このようにして駅に人が集まるようになると、旅客サービスが必要となると、次々と構内営業者が増えていった。

長い間国鉄も様々な法律によって法律上の規制がなされていった。国鉄の分割民営化を前に、余剰員対策と収益確保を目指して、旧国鉄が初めて直営店事業をいろいろな分野において行った。その対象となった人々は、今までの仕事とまったく異なった職場での仕事に就いて、当初は大変戸惑ったと思う。

平成に入り立川駅においても、国鉄時代からの駅弁屋、パン・牛乳、駅そばの他にもカレー屋、ビデオ屋、スパゲッティ屋、ショットバーなど様々な直営事業が小規模ながら商売をしていた。今思い出すと、青梅線の東京方面乗換の所に、カレーの店があった。今まで機械を相手にしていた社員たちは、お客様を相手にな

れない手つきで一生懸命カレーを配っていた。私もこの店はよく昼食として食べていた。とても味がよく、ご飯も美味かったことを覚えている。

南口旧コンコースの階段下には、プレハブのような平屋建てのビデオショップなどが直営店であった。またコンコースの現びゅうプラザ通りにショットバー（アルディラ）という洋風の居酒屋があり、店長など蝶ネクタイをしている姿を覚えている。駅ナカなので、帰りの電車の時間調整には大変都合がよかった。

このような様々な人々によって駅ナカ事業が展開されていった。営業とは関係ない設備関係の人々は、中央線鳥沢の旧線トンネルでしめじの栽培をして商品として国立駅構内などで販売していた。毎日完売だった。また主要駅ではオレンジカードが販売されて、駅員が大きな声を出してオレカの販売にも力をいれていた。今から約30年前、活気ある構内直営事業の風景だ。今から見ると駅ナカ元祖のひとつかもしれない。

昭和57年（1982）10月2日、立川駅橋上駅舎完成。駅ビルWILL（現ルミネ）開業と同時に、南北自由通路共用開始。平成19年（2007）10月5日、エキュート立川が開業（第1期）南口改札口を新設。このようにして立川駅も大型店舗がJR東日本グループによって次々と出店し、本格的な駅ナカ構内事業へと進んでいった。



JR 東日本リテールネットが運営する ecute 立川。
保育園やクリニックも入り利便性が高い。



昭和40年代の桜木町駅の売店の様子



「東京名所之内新橋沙留蒸気車鉄道局停車場之真図」



立川駅南武線ホーム



立川駅中央改札内

はごろもで そだったぼくらは ねぶたっ子

第20回 羽衣ねぶた祭

商店街のお祭りとしては驚くほどの観客動員数。
街に定着し、住民と来街者が一体となって楽しむ。
それが羽衣ねぶた祭だ。

◆ねぶたの日 今年は 大雨ふらないで

——天候不順な中、今年のねぶた祭はみごとに晴れましたね。

中島 6年ぶりですからね。ただ全国的に見るとやはり大雨による災害が多くて、自分たちだけ晴れたと喜んでもいられないので、あまり天気の話は大きな声では言わないようにしています。

——例年雨で残念なねぶた祭。えくてびあん社内では「ねぶた取材にはカップ」と言われています(笑)。

中島 5年間続けて大雨ですから。ビニールをねぶたにかけるとやっぱり見栄えも悪いし、じゃどうするんだということね、会員の中にペンキ屋さんがいて何年か前から防水かけているんです。だから雨に降られても破れない。

——人によると観客動員数30万人ともいわれるイベントですが、雨が降るとやっぱり減るでしょう?

中島 30万まではいかないですが、でも毎年、雨でも人は来ていましたね。

——早い時間から沿道に席をとっていらっしゃる方がいらして。

中島 そう、そうなんです。ありがたいですよ。

——そのくらい楽しい、立川の有名なお祭りに成長されたということですね。

◆ねぶたの日 地いきのほのお もえあがる

——そもそも、なぜねぶたなのですか?

中島 東京都と立川市の「元気を出せ! 商店街事業費補助金交付」という事業助成があったんです。それで東立川商店街でも、なにか商店街主催のイベントをしようじゃないかということになったんですね。当時の商店街の理事長が青森出身の方で、舞の海と同郷かつ舞の海は出身高校の後輩だというんで、舞の海関にちゃんこを作ってもらって若い衆が配るといイベントをしたのがそもそものきっかけです。で、その翌年に商店街の会員から青森のねぶたを1基でも持ってきてお祭をやることはできないかと声が上がって。

——ねぶたが来たわけですね?

中島 ええ、それが第1回のお祭です。人形ねぶたが1基。それが始まりでした。羽衣祭りと一緒にやって、道路の通行止めとか、申請とかそんなのまだ関係なくて、ただねぶたを動かした。それでできてしまった時代だったんですね。

——いつから警察に申請するようになったのですか?

中島 3回目からです。申請するようになって、1基ずつ増えていきました。

——今年は、何基あったのでしょうか?

中島 全部で8基です。人形ねぶたが4つ、

扇ねぶたが1つ、オリジナルのひょうたん提灯の山車がひとつあります。それから車止めになっている文字ねぶたが2基。

——オリジナル以外は青森からですか?

中島 人形ねぶたはすべて青森からです。毎年ではなくて、例えば今年来たものは来年まで残す、あるいは2年使う、2年使ったら潰すということにしています。潰さないと置き場所がなくなっちゃうんですよ。

——ねぶた祭を運営している組織は?

中島 ねぶた祭の組織の母体は東立川商店街振興組合です。運営しているのはその会員なのですが、商店街の人数だけではできないんです。それでねぶた会を作りました。年会費千円で、ねぶたが好きな人、羽衣ねぶた祭に参加したい人で構成されています。ねぶた祭そのものは実行委員会組織なので、私は会長兼実行委員長ということになります。

——毎年時間をかけて作り上げるお祭という印象ですね。

中島 まさにその通りで、昔は4月から毎週やっていたのですが、それだと個々の負担が大きくなりますし、お金もかかりますのでね、20回ともなるとある程度の準備はできているので、6月から始めます。それでもスタートは6月です。よくあるイベントのように舞台だけ作ってそこに誰か来てもらって終わりというものではない。青森から8月6日にはこちらにねぶたが到着し



中島 清 氏

東立川商店街振興組合副理事長。ねぶた会会長、ねぶた祭実行委員長。昭和36年生まれ、57歳。昭和32年10月、父・芳男さんが現在の地で商売を始めてから61年続く豆腐屋。清さんが家業に従事したのは20歳から。昭和の時代には手広く商いし、今とは別の意味で「この先どうなっちゃうんだろう」という心配までしたほどの忙しさだったという。5人いるお子さんたちはそれぞれに自分の道へと踏み出している。

みなさんのお祭に対する情熱が燃え立ってきたから、ここまでつながってきたのかなと思います。商店街だけでやりましょう、有志だけでやりましょうでは協力してくれる人もいなかったでしょうし、作る側も観る側もそれぞれが楽しんで当日を迎えるのが、このねぶた祭かなと思います。

——中島さんは何代目

の会長ですか?

中島 ねぶた会としては、肉の久保田さん、ビューティ堀内さん、で私が3代目です。気配りという点では私はまだまだです。先輩方に比べたら歳もまだ若いですしね。

——お仕事もお忙しいのに、よく引き受けられましたね。年間を通じて、川柳や俳句の募集、写真展の開催、表彰式などいろいろあるお祭ですから。

中島 そうなんです。なにしろ仕事はひとりでやりますでしょ。

——お子さん、5人いらっしゃるでしたね。以前えくてびあんの表紙モデルになってくださった時に、誰がお豆腐屋さんを継ぐのかななんてお話しました。

中島 現状として「おい継げよ」とは言えないですよ。あと10年経ったら、立川からこうした豆腐屋はなくなるかもしれない。

——今は何軒あるのですか?

中島 羽衣町に2軒、富士見町の四小の近くに1軒、高松町の梅の湯の奥に1軒、砂川の武蔵村山に向かう道に1軒の5軒ですね。最高40軒以上ありましたからね。

——梅の湯の名前が出ましたが、お風呂屋さんも減りましたよね。

中島 羽衣町には2軒あるんですよ(笑)。今まで勤めていた息子が最近継いだんですよ。——なんかちょっと嬉しい話ですよ。

中島 個店はいつのまにかなくなっちゃうんですよ。魚屋も近所にありましたが閉めましたしね。対面の魚屋とか肉屋って、少ないんじゃないかな。柴崎町ではひがしミートが頑張ってますよね。

——そんな中で、本当によくお引き受けにられましたね。

中島 かなり前から打診はされていたのですが、断り続けていました。でも、家内に相談し、両親にも実情を話すと、そこまで言っていただけの時がその時なのではないかと助言され、本心としては「喜んで!」ということではなかったのですが、きちんと日を選んでお引き受けする旨、お伝えしました。

——実際に会長になられてみたら、いかがでしたか?

中島 会長、実行委員長の働きというのは見えない部分がほとんどで、経験もありませんでしたから、今まで知らなかったところをいろいろ見せていただいたということでしょうか。

——結果的にはやってよかったということになりますか?

中島 うーん。やってよかった、ですね。みなさんに信頼していただけたことが天候にもつながったのかなと思います。6月からの活動でしたが、この暑さの中で誰ひとり熱中症になる人も出ず、ケガ人も病人も出なかった。その点では本当にありがたかったですね。

——役職の重みを感じるお答えですね(笑)。

中島 本当に1年間通してねぶたのことを考えるという感じです(笑)。親がこの体を健康に生んでくれて感謝です。それは本当に感じます。寝込むこともありませんが、休む暇がありません。

——本当にお疲れさまです(笑)。

中島 みなさんのおかげで生かされています。工夫しながら調整しています。立川に生まれ育ち、今も住んでいるから、こうしていろいろらせていただけてますよね。

※文中の川柳や俳句は、本年投稿されたものの中から入選した作品です。



アジア選手権大会
日本代表認定式で

ベラルーシ選手団の視察

アルバルク東京



TORAY
PPO TENNIS

スポーツ立川2018

「立川なんかで？」
いえいえ、立川だからこそ！

2020年を前に大きく変わろうとしている立川。
今、立川から目が離せない。

立川
ダイス

「立川から世界へ！」を有言実行。男女とも見事日本一になって海外へ進出する3人制バスケットボール 立川ダイス。

立川が生んだ、まさに立川のチーム。真正正銘の日本一！

日本一といえば、立川をホームとして2019年も戦っていくアルバルク東京も2018年の日本一。

2018年は女子テニス全米オープン初優勝した大坂なおみ選手や、秋場所で前人未踏の幕内1000勝を果たした白鵬関、世界新体操選手権ソフィア大会でフープ銀メダルを獲得した日本代表（フェアリージャパンPOLA）など、世界レベルの選手が続々と立川の地を踏んだ。

観るだけでなく、テニスやバスケのスクール、体操教室など市民の参加もさかんになった。

商業都市立川は、いつのまにかスポーツ都市立川にもなろうとしている。2020年に向けて、この動きは止まらない。

大相撲夏巡業
立川立飛場所



ビーチサッカー



©TACHIKAWA DICE

えくてびあんの輪	
えくてびあんはリストのお店にあります。 今日は 羽衣町・錦町・柴崎町・立川市外 のお店です。	
羽衣町 錦町	BB TAKAOKA まごころ銘茶 狭山園 お好み焼ともんじゃ焼 こけし 521-0236 527-0146 526-1267
めがね・つけい・補聴器 カワハラ 鳥料理 くし秀 寿司勝 IL COVO イタリア料理 トラットリア ドン シェ 宮地楽器 MUSIC JOY 立川南 中国料理 五十番 一六珈琲店 手づくりみそ 材料専門店 北島こうじ店 new gyoza 1059 餃子天国 イタリアンダイニング asa バル アラディ CAFE SOMMEILLER 中国整体院 本格手作り中華まん 金包堂 日本クッキングスクール 元祖5本指ソックス専門店 LASANTE ホテル日航立川 東京 美容室 アリス 豆やキッチン pocotto FALCO hair N HAIR WORLD 創作料理 caffe & bar 厨〜kuriya〜 TTM (株) Bakery Café Crown 日本空手道 佐藤塾 三田花店本店 いわさき痛みの整骨院 にしや薬局 たましん RISURU ホール たましん 錦町支店 カレー店 CHOTA パン工房 グラーティア そば処 高尾亭 Natural Food Restaurant シェいなば エステランテ ロズまり Garden & Crafts café 至誠学園立川 至誠ホーム 至誠介護相談センター 525-4427 522-7692 522-4874 595-9071 512-8735 526-1779 522-7472 527-1680 524-3190 526-2283 529-5668 523-3917 527-1440 529-1088 548-0182 522-3440 540-1616 521-1111 525-1100 808-7507 528-2389 523-5336 595-7449 524-5787 526-2226 548-7460 524-4187 529-5123 525-9212 526-1311 528-0511 525-1004 512-8667 522-2710 529-5921 529-3037 0120-412-877 527-7734 527-0031 527-0321	諏訪神社 毎日新聞社グループ (株) 毎日広告社 バスタビーノ はしや 高島ビル Hair Room MOON ZETTON 南武堂剣道具店 ビジネスホテル 小沢屋 おしゃべりカフェ トーク・スペース ESBI 立川南口店 (株) 一心堂 すがの歯科 紙匠 雅 あすなろクリニック 522-2968 522-6121 521-3386 526-0111 523-0961 527-0197 523-0388 527-1636 526-2947 527-3777 540-2675 548-1388 529-2756
立川市外	昭島市 ECO'S 昭島店 武蔵村山市 中国料理 菜 国分寺市 パンの店 fermata 小金井市 ONLY FREE PAPER 546-3710 561-7233 534-3334

jorakugajo

真如苑提供番組「常楽我浄」

スカパー！：529ch

スカパー！で放送の常楽我浄はスマートフォンアプリ「ivy」（無料）で視聴できます。

J:COM 多摩：111ch

放送時間については番組表をご確認ください。

www.shinnyo-en.or.jp

街の話題

深秋の花火です

11月23日 18：00～19：00 立川花火大会が開催されます！観覧場所は夏の花火と同じ、昭和記念公園 みんなの原っぱ。昭和29年に始まった立川花火大会は、打ち上げ場所を日野橋河畔から米軍立川基地、さらには陸上自衛隊駐屯地へと変え、今年60回目を迎えます。花火大会の歴史は、立川の街づくりの歴史でもあります。深まる秋、いつもとは違う趣の花火大会をお楽しみください。

立川ダイス、おめでとう！★

「立川から世界へ！」を合言葉に、1つひとつの試合を戦ってきた「立川ダイス」。立川が生んだ3人制バスケットボールのチームです。9月16日、大森ベルポートで行われた3X3.EXE PREMIER 2018 PLAYOFF FINAL で優勝、日本一になりました！おめでとう～～～。これより前の5月27日にはJBA 第4回日本選手権でも優勝し、第4代チャンピオンとして10月13日、14日に開催されるFIBA ワールドツアー クアラルンプールマスターズに出場。2020大会に向けて、立川からオリンピックへ、みんなで応援しましょう。

第一小学校の挑戦 ★

第一小学校で「卒論」に取り組むようになって3年目。ICTを駆使して自らの研究成果を堂々とプレゼンテーションする児童の姿は、いわゆる小学生のイメージしか持たない大人には驚きでしかありません。なぜ小学生に卒論？ 對馬校長は「中学校や高等学校の3年間は受験勉強に多くの時間を費やし、大学によっては「卒論」そのものが選択制であったりして、全員が卒業論文にじっくり取り組む機会は小学校しかない」とおっしゃいます。内容そのものはやっぱり小学生であったとしても、自分に与えられた時間を有効に活用しながら、興味・関心をもつ事柄からテーマをみつけ、課題を研究し、成果を発表する経験は、主体的に学ぶ面白さを実感する貴重な体験になります。對馬校長の夢は、数年後、卒業生が国際的な会議で堂々とプレゼンテーションしている姿を見ることなのだとか。この取組みについては、追跡取材を重ねていきたいと思います。校長先生の情熱に応える個々の先生方、そして児童のみなさん。立川ってすごいじゃないですか！



西くるりん祭

元気のいい西砂周辺のママたちが集まってお祭りを開催。それが「西くるりん祭」です。西砂ならではの野菜マルシェや、えくてびあんで以前ご紹介したパン屋さん「麦」のパンももちろんあります。10月25日（木）、11：00から14：00まで。場所は西砂会館です。ママフェスですから、お子さん連れで楽しんで！

★印のついている記事は、えくてびあんのブログ「立川は Ecoutezbien えくてびあん」に詳しく掲載されています。



9月25日、立川市長を表敬訪問、優勝の報告をしました



對馬 洋校長



期間限定 立川ショコラ

本年7月号でご紹介した「立川発のボンボンショコラ」、伊勢丹立川店の催事に登場します。会期は11月21日（水）～11月27日（火） 地下1階の洋菓子プロモーションコーナーで。楽しみです！



「祈りと救いの中世」★

国文学研究資料館（緑町）の展示室で、特別展示が開催されています。寺院に現存する貴重な古典籍を中心に、中世における信仰の実態と文学との関わりについて紹介されています。展示資料は、国宝・称名寺聖教をはじめ、神奈川県立金沢文庫や国立歴史民俗博物館、さらに多摩地域や各地の寺院に伝わる貴重な古典籍や絵画資料など約90点。こうしたすばらしい展示を身近に鑑賞できるのが立川の強み。行かないなんてもったい！会期は10月15日（月）～12月15日（土）、午前10時～午後4時30分（入場は4時まで）。お休みは日曜日・祝日、展示室整備日の11月14日。なお土曜日は正面入口が閉まっています。北側通用口からお入りください。

江戸の立川 講演会 ★

9月15日（土）、上砂会館で講演会がありました。主催は上砂図書館、講師は国文学研究資料館の太田尚宏先生。「古文書から暮らしを読み取る」という 주제로、江戸時代の多摩地域についてお話くださいました。砂川八番組の史料からいろいろなことがわかってきます。例えば、あれだけお祭りに力をいれている砂川なのに、お祭りの記録は少ないとか。こうして少しずつでも先祖のことがわかってくるのは嬉しいですな！



史料は砂川八番 須崎家の蔵から出てきた「御用留」

おじゃましま～す！——[68]

PATISSERIE Tsunagu

立川通り沿い、マンションの1階にケーキ屋さんがオープンしました。実はシェフの長谷川さん、えくてびあんで8年前に取材させていただいたことがあるのです。当



時は立川の老舗 エミリーフロゲのシェフになられたばかり。工場までうかがって、フランスで修行された技と味を見せていただきました。長谷川シェフがこの9月に独立、満を持してオープンしたのが「PATISSERIE Tsunagu」です。朝10時には、ケースに色とりどりの美しいケーキが並びます。マカロンにフルーツとクリームを挟んだ、その名も「マカロン」。かわいくて目を引きます。ベリーとベリーの組合せで人気の高い「ナナ」、定番

生ケーキも 焼き菓子も



〒190-0011
立川市高松町3-21-4
TEL 042-512-7349

営業時間 10：00～19：00
定休日 月曜日



表紙の人

岡本利万さん、侑也さん、大輝くん、拓篤くん

上砂町にお住まいで、親子で農業を営む岡本家。農家としては侑也さんが4代目。それまでは代々大工さんというお家柄。道路をはさんでお向かいの梅田さんのお宅から利万さんのおじいさんが婿入りした時に、持ってきたのが今の畑。それから代々農家になったそうです。利万さんのお父様はとってもよく働いた方だそうですが、お母様から「そろそろお父さんを手伝っては」と言われ、それまで外で働いていたのを辞めて農業を継ぎました。同様に侑也さんもずっとサラリーマンだったのを、30歳を期に家業を継いで3年。まだまだですよと言いながら、しっかり家業を支えています。撮影のこの日は雨も心配されましたがすっかり晴れて、侑也さんの作るネギ畑で。幼稚園から帰ってきた大輝くんも拓篤くんもとってもおとなしく、ものすごく短い時間で撮影終了。ご協力、ありがとうございました。

かたこと

◆暑かったり寒かったりの毎日ですが、皆さまおかわりございませんか。晴れば秋の高い空、空気は澄んでスポーツには絶好の季節です。10月に入ってすぐに行われた東京スポーツ博覧会、翌週の箱根駅伝予選会。これからスポーツの種類も、競技人口や観客も増えていくと思う時、交通の要衝立川がその中心となるのは必然です◆人が増えれば危険も増える。不特定多数の人が集まる事業所などでは、初期消火の備えが望まれます。立川消防署管内で行われた事業所の自衛消防審査会。もともとは新人研修の一環だったそうですが、屋内消火栓を扱える従業員がいることは、みんなの安心につながります◆「とうふの中島商店」二代目店主の話からは、昔懐かしい昭和ではなく、バブリーな昭和が感じられました。長かった昭和には物の無い時代もあれば、物で溢れる時代もありました。街に根差し、街とともに生きてきたからこそ語れる昭和から平成への変遷。言葉に実がこもっていました◆バブル景気を目前にした昭和59年、えくてびあんは立川で創刊しました。以来多くの方に支えられていただいて今があります。常に立川と共にあった34年。ここでちょっと一区切り。えくてびあんはしばらくお休みを頂戴します。休んでいても、いつも心は立川に。皆さま、再会の日をお楽しみに！

えくてびあんスタッフ一同

えくてびあん ⑨

発行 有限会社えくてびあん
〒190-0023
東京都立川市柴崎町2-1-10 高島ビル4F
TEL 042-528-0082 FAX 042-528-0065
E-mail message@tamatebakonet.jp
URL http://ecoutez.exblog.jp

発行人 黒須 環
企画・写真・編集 えくてびあん編集スタッフ
デザイン 池田隆男（WATER DESIGN ASSOCIATES）
印刷 三浦印刷株式会社・DECK C.C.

無断転載を禁じます。



自衛消防審査会 2018



立川市役所男子隊の練習風景

男子隊・混成隊（出場順）

立川グランドホテル・グランデュオ立川・国立市役所・パレスホテル立川・真如苑・JR 立川駅・ららぽーと立川立飛・立飛ホールディングス・LABI LIFE SELECT 立川・陸上自衛隊東駐屯地・JR 立川運転区・たましん・立川市役所・エキュート立川・共済立川病院・ビックカメラ立川店・一如社・東京ガス（株）立川ビル

女子隊（出場順）

伊勢丹立川店・陸上自衛隊東駐屯地・ルミネ立川店・一如社・立川市役所・JR 立川駅・災害医療センター・井上レディースクリニック・真如苑・砂川園



伊勢丹立川店女子隊の練習風景



グランデュオの応援メッセージ



砂川園の応援メッセージ

10月11日が事業所の自衛消防審査会。本番を前に各事業所と、一生懸命練習に励んでいました。今年は参加隊が増えて、男子隊・混成隊が18チーム、女子隊が10チーム。合計28チームが練習成果を競いました。不特定多数の人が集まる大型商業施設や病院、福祉施設などは自発的な参加が望まれるところです。参加団体は以下の通り。来年も引き続き頑張ってください。当日の詳細、練習風景、応援メッセージはえくてびあんのブログ「自衛消防審査会 2018」に掲載してあります。